

さよなら南茅部町

北海道新聞

発行所
北海道新聞函館支社
〒040-8688
函館市五稜郭町 31 番 3号
函館市外局番 0138
報道 ☎ 5112
販売 ☎ 5134
© 北海道新聞社 2004

記念号併

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

道新スポーツ



閉町式に集まった南茅部町のみなさん



郷土の歴史の節目となった閉町式

12月1日 新・函館市が誕生

さようなら、わが南茅部町。函館市と渡島東部4町村の合併による新・函館市の誕生を12月1日に控え、11月25日、閉町式が町福祉センターで行われました。式典には多くの町民が出席し、まちの長い歴史に区切りをつけました。

4町村と函館市の合併は、平成の大合併」の道内第1号となります。

合併構想は2002年から本格化しました。今年4月、正式に合併協定書に調印。行政の一体化に伴うさまざまな問題の協議と準備を経て、今日に至りました。12月1日の合併後、4町村の役

場は函館市の支所となり、各町村長が支所長を務めます。

新しい函館市の人口は30万人余で道南(渡島・松山)の約58%を占めます。合併した町村がさびれることのないよう、同時に道南の中核都市として、一層の経済、文化の発展が期待されています。

北海道新聞・道新スポーツ 購読のお申し込み
ヨムヨ ドーシン
0120-464-104

渡島東部 4町村

素顔を紹介

美しい わが故郷永遠に

眼前に大間 マグロ抜群 戸井

戸井町は青森県大間町と津軽海峡を隔てて、わずか一七・五キロ。町内の汐首岬が本州 北海道最短地点だ。寒暖流が交わる好漁場でタコやウニな

どが漁獲の中心。鮮度の良さで知られるマグロ、早くから養殖に取り組んだコンブは全国的に評価が高い。人口は約三千八百人。

特産の「むい」(オオバンヒザラガイ)にちなんで名づけられたオートキヤンプ場トールパスビレッジ「ムーイ」、戦前建設された旧戸井線のアーチ橋群など見どころも。姉妹提携している大間町とはスポーツ交流が盛んだ。

榎法華

雄大な風景 魅力の温泉

榎法華村は恵山岬と銚子岬に囲まれた漁業のまち。近海は「恵山漁田」と言われ、津軽海峡から流れ込む暖流と寒流が交わり、コンブ、ウニ、スケソウなど海の幸をばぐくむ。人口は約千五百人。活火山・恵山周辺には魅力的な観光資源が集積する。ホテル恵風では恵山岬灯台を見下ろす雄大な風景と温泉、海の幸盛りだくさんの料理を楽しめる。水無海浜温泉は波打ち際に湧き出る秘湯だ。銚子サーフビーチには一年中、サーフィンの若者たちが集う。

見上げると恵山 四季豊か 恵山

春はツツジ、秋は紅葉に彩られる恵山のひざ元に広がる恵山町の人口は約四千五百人。恵山は標高六一八メートル(円すい形火山)とトロイデ(鐘状火山)が複合した活火山だ。ガンコウランなど六十種類を超える高山植物が自生し、山頂からの眺望は雄大だ。特産のマダラは冬が旬。こぶ締め刺し身、脂の乗ったタチを入れたタラ鍋は逸品だ。ゴッコ(ホテイウオ)も、外見とは裏腹に美味。町内の道の駅「なとわえさん」

では、四季おりおりの恵山の味を楽しむことができる。南茅部町は人口約七千三百人と、四町村の中で最も多い。豊かな海と山の恵みは古代から人の暮らしを支え、町内には約九十カ所もの遺跡が点在。縄文時代前・中期の集落の跡で国指定の史跡「大船遺跡」や、発掘された遺物はマチの観光資源ともなっている。

誇りは縄文コンブの海 南茅部

数ある海産物の中でも、白眉(はくび)は古くから朝廷や将軍家に奉納されて「献上昆布」と呼ばれたマコンブ。コンブの異名「ひろめ」に由来する「ひろめ舟祭り」は毎年六月、舟こぎ競争に威勢のいい歓声が飛び熱気あふれる浜の祭りだ。

